

H - A ロケット輸送能力向上に係る評価について

平成15年6月20日
計画・評価部会長

1. 経緯等

「H - A 標準型以上の能力を持つ輸送系（H - A 増強型）を開発する場合には、H - A 標準型を基本に民間に主体性を持たせた官民共同開発を行う。そのため、官民の関係者からなる作業チームを文部科学省に設置し検討を行う。」との「我が国の宇宙開発利用の目標と方向性（平成14年6月26日宇宙開発委員会決定）」における提言を受け、文部科学省内に設置された「H - A 民営化作業チーム」による検討結果が平成15年5月7日に宇宙開発委員会に出されたところである。

「計画評価部会審議結果（平成14年8月21日決定）」においては、この検討結果に基づき本計画を見直すこととされている。

2. 評価の進め方及び前回評価時の指摘事項

上記の経緯により、本計画の着手時点より環境条件等に変化が生じている現状を受けて、実施フェーズ期間中の中間評価を行う。

宇宙開発委員会評価指針特別部会報告書「宇宙開発に関するプロジェクトの評価指針」に基づく評価項目のうち、

- ・ 意義の確認
- ・ 目標および優先度の設定

の2点については、計画・評価部会において先行して審議を行い、

- ・ 要求条件への適合性
- ・ 開発方針
- ・ 基本設計要求の妥当性及びシステムの選定
- ・ リスク管理
- ・ 実施体制
- ・ 資源配分

については、環境条件の変化に伴い影響を受ける項目を中心に、追って設置する小委員会において評価を実施し、計画・評価部会の調査審議に資するものとする。

**「計画・評価部会審議結果」(平成14年8月21日決定)
より抜粋**

2 . 審議の結果等

2 - 2 . 新規の主要な計画等

【 中 略 】

また、「宇宙開発に関する基本計画」(平成14年7月1日制定)から変更のあった下記事項について宇宙開発事業団から報告を受け、主要な事項について次のとおり部会としての意見をとりまとめた。

(1) H - A ロケット増強型の開発計画の変更

H - A ロケット増強型の開発の在り方については、「我が国の宇宙開発利用の目標と方向性」において宇宙開発委員会が提言しているとおり、文部科学省内に設置された「H - A 民営化作業チーム」により検討中である。今後、その検討結果に基づき開発計画を見直す。